アイヌ伝統等普及啓発等に必要な経費の事業の概要と課題

アイヌの伝統等普及啓発等に必要な経費の目的と概要

○　アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、及びその誇りが尊重される社会の実現を図り、もって全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目標とし、アイヌの伝統等に関する国民に対する知識の普及及び啓発を図るための施策を推進。

○　アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律（平成31年法律第16号。以下「アイヌ施策推進法」という。）に基づき、国が本事業を実施する必要がある。

国土交通省

民族共生象徴空間運営委託費

アイヌ伝統等普及啓発等事業費補助金

（補助率1/2）

公益財団法人アイヌ民族文化財団
（※アイヌ施策推進法に基づく指定法人）

- ○民族共生象徴空間（ウポポイ）構成施設の管理運営
- ○ウポポイへの誘客促進施策
- ○アイヌの伝統等に関する普及啓発

アイヌ民族文化財団が実施

アイヌ文化についてより多くの方に触れてもらうための取組

ウポポイの広報活動

三大都市圏での普及啓発

アイヌに接する機会の増加

【長期アウトカム】

アイヌ文化についてより理解を深めてもらうための取組

ウポポイでのコンテンツ提供

普及啓発セミナー

アイヌに対する差別、偏見の解消

【長期アウトカム】

ロジックモデル作成に当たっての課題

	課　題	対　応
令和5年度改善	○「委託費」と「補助金」の財源の違いのみでアクティビティを2つ設定していたが、アウトプットからアウトカムへのつながりが不明瞭であった。	○　これまでの財源の違いに加え、人数を増やす取組と理解を深めてもらう取組の内容についても区分し、4つのアクティビティを設定した。
令和6年度改善	○　来場者数や事業の参加人数など量の指標を重視しており、理解を深めてもらう取組の指標が適切に計測できていなかった。	○　ウポポイ来場者及び普及啓発セミナー参加者に対して「アイヌ文化等について理解をしたか」を確認するアンケートを新たに実施し、アイヌ文化への理解度を短期アウトカムとして設定した。
令和6年度改善	○　短期・中期アウトカムから長期アウトカム（「アイヌに関する周知度」、「アイヌ文化に関する認知度」）のつながりに論理に飛躍があった。	○　短期・中期アウトカムからのつながりの観点を考慮し、長期アウトカムとして「アイヌの人々や文化と接する機会の増加」及び「アイヌの人々に対する差別、偏見の解消」を設定した。